

土浦女性団体だより

つどい



<ミモザ>

ミモザは国際女性デー(3月8日)のシンボルの花

編集・発行／土浦市女性団体連絡協議会

変わる 希望と共に

土浦市女性団体連絡協議会 会長 今高 博子



今年度は地域に密着し、実践的な事業を着実に実行してきました。「DV・デートDV・児童虐待」などで悩んでいる人にメッセージが届くようチラシ 3000 枚をオリジナルで作成、配布しました。公民館祭り参加者や土浦駅乗降者の方々に「一人で悩まないよう支えて欲しい」と声掛けし、受け取って頂きました。中には戻って来てチラシを貰っていく高校生もいました。一人でも被害者にならないよう願うばかりです。DVや児童虐待の被害者の声は潜在化しやすく、相談窓口につながりにくい問題があります。昨年、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。しかし、「男性もDVの被害者だ、生きづらさもある！」といった声も聞かれ、それも現実です。

昨今、いわゆる「女性団体」に対する考え方人もそれ多様になり、私たち女性団体の運営も難しさを感じことがあります。改めて、今後の団体の在り方について話し合いを重ね、変革に取り組んでいくことが求められています。

私たちは個人の尊厳と、安心・安全が守られる社会の実現をめざして活動を行ってきました。今こそ男女共同参画センターと連携・協働を強化して地域と共に男女共同参画の活動に取組んでまいります。

女性に対する 暴力をなくす運動 啓発活動



登下校中の高校生や通勤途中の方に、暴力防止のチラシやティッシュを配りました。

土浦駅前コンコース&デッキで
11月12日(火)7:30~16:00



この他、各地区の公民館文化祭にて多くの市民の方々にもチラシやパープルリボンを配布しました。

10月27日~12月1日



DV 防止啓発のチラシ



土浦市女性団体連絡協議会

人権 × 平和 × ダイバーシティ × 協働のまちづくり つちうらクローバーフェスティバル

女性団体連絡協議会啓発コーナー

男女共同参画センター



- どうする。おまえひとりで洗濯、食事やっていいけるのか?
- 会社でも怒鳴られ家でもこれなら早く単身赴任したいよ
- 明日買い物に行くか

夫

気づこう!無意識の思い込み

アンコンシャスバイアス

サラリーマン専科のマンガを見て、様々な年代の方に「夫と妻の会話のセリフ」を入れていただきました。

- 仕事から帰ってきた夫が「転勤になったよ」
- 「えっどうする!家事の特訓だ」
- はて? 特訓を受けているのは誰…

- あんたが行っちゃうとだれが食事作ってくれるの
- 何回教えたらわかるのよ
- 掃除機壊れちゃったかしら

シールアンケート調査結果 ~知っていることばにシールを貼ろう~

SDGs	53点	LGBTQ+	44点
DV	51点	ワークライフバランス	44点
ジェンダー	50点	ダイバーシティ	42点
ハラスメント	48点	アンコンシャスバイアス	30点
男女共同参画	46点		

*アンコンシャスバイアスについては、まだ理解が深まっていないようです。



◎協働のまちづくり事例発表&パネルトーク

県南生涯学習センター

土浦市ネットワーカー等連絡協議会 井深 敏彦



本会は、ポスターセッションに参加すると共に、事例発表&パネルトークの運営に協力しました。パネル展では、多くの市民団体の活動状況を知ることができ、今後の活動の参考にしたいと考えています。事例発表&パネルトークでは町内及び地区市民委員会等の活動内容の報告があり、有益な情報の提供が行われました。

一方、会場参加者が少なく、最初に集客力のある講演会を入れる等のプログラム編成の再考が必要と思われました。

◎人権講演会トーク&コンサート

「さらなる一步を踏み出そう!」 講師：立木 早絵 氏(シンガーソングライター)



会員 斎藤 高代

十数年前の24時間テレビで津軽海峡縦断リレーやキリマンジャロ登頂と次々に挑戦し、感動を与えてくれた早絵さん。現在はシンガーソングライターとして活動中です。2歳で失明された生い立ちからその後の様々なチャレンジを通して、理不尽を感じながらもたくましく乗り越えてきたお話は、応援すると同時に元気を頂きました。そして癒される透き通るような声でピアノの弾き語りも素敵でした。

広島平和式典参加報告

令和6年8月5日(月)～7日(水)

会員 斎藤 真理子

ノーベル平和賞 受賞

日本原水爆被害者団体協議会

被爆の悲惨さ、高まる世界の核に

警鐘を鳴らし 訴えて 68 年！

青い空は青い今まで～



各公民館に女性団体からのメッセージを掲示

土浦市の平和使節団の一員として、私は中学生と共に式典に参加しました。会場には何十ものテントがあり世界各国からの参加者がいました。戦後79年を迎え戦争体験者が減っている今も広島は非核都市宣言をし、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に伝えようとしています。何度も耳にする平和の言葉と「ひろしま平和の歌」に心打たれました。「戦争は人の心の中で生まれるもの、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という一節があるように、一人ひとりが手をつなぎ、耳を傾け、声を出し合い平和を願っていきたいと思いました。



参加した中学生と



6日夜の灯籠流し

講演と交流会

令和6年10月11日(金)

～花火が楽しくなる鑑賞ポイント&話し合おう土浦をもっと輝くまちに～



大玉を前に講演する小泉氏

講師：小泉 裕司 氏(花火鑑賞士)

土浦市 瀧澤 英子

花火は夏の風物詩と思っていたが、土浦市に来て、寒い時期に驚いたものです。ドーンと地響きのような感覚は特別なものです。花火鑑賞士の方の話によると、土浦の花火のスターマインの500発は日本一のこと。好まれる色合いも時代と共に変わっていくそうです。競技会ということで、花火師たちの切磋琢磨する姿、また女性の花火師が増えているのはうれしいことです。今年も夜空に浮かぶ絵にただただ拍手を送りたいです。

※花火大会は中止になりました。次回を楽しみにしましょう。

交流会　講演の後お菓子とコーヒーで交流会が開かれ、皆さんにお聞きしました。

- 古い街並みが数多く残っていて、醤油の発祥地でもあります(国分町あたり)。ぜひ全国に紹介して欲しい。
- 土浦は自然豊かで住みやすい町だ。歴史もある。もっとアピールすべき。
- 湖周辺に遊べる場所を作つて人が集まる場所にしたら。道の駅とか。
- 日本一と誇れる花火がいちばん。花火には鎮魂の意味もあったのですね。
- 城下町が感じられる旧町名が大好き。敷島町、本町、中城町、外西町
- レンコンを料理にいろいろ使用したい。



かすみがうらマラソン 兼 国際ブラインドマラソン2024

令和6年4月21日(日)　かすみがうら総合運動公園

会員 井倉 洋子

バナナ配りのボランティアで参加しました。全国から外国の方を含め約14,000人が参加。ゴールした時には、足がつったり倒れこんだりする人がいました。お疲れさまと言ながら笑顔でバナナを渡すと、皆さん笑顔で受け取ってくれ、余裕のある方は、今日は暑かったんだよとか、いろいろとお話を聞かせてくれました。

朝は7時半に家を出て帰りは4時半。ランナーさんに劣らず充実した一日でした。



「バナナをどうぞ!」と声かけしています

いつ起こるかわからない災害に備えて

防災危機管理課との意見交換会



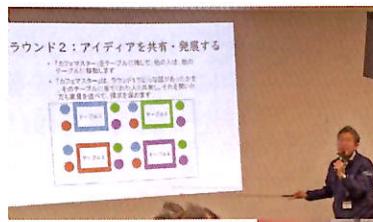
土浦市防災危機管理課の皆さんと

大規模災害時の避難のために「何を準備し、どう行動するか」について意見やアイデアを付箋紙に貼り付けながら、ワールドカフェ方式で話合いを行いました。近隣との付き合い・簡易トイレの常備・スマホ充電器・ガソリンの保持・風呂水・現金管理等々様々な意見が出ました。

大切な自助・共助ですが町内の備蓄品の確認・井戸水の活用情報など、本気で確認し合うことを学びました。

日時：令和7年2月17日（月）

場所：男女共同参画センター



土浦市の防災倉庫見学と防災機器などの操作演習



日頃から訓練していきましょう！

土浦市が管理している27か所の防災倉庫の1か所を訪ね、水、アルファ米、毛布などの備蓄品を見学。妊婦、乳幼児の為の備蓄品は他所にある事を知りました。その後、ジャッキや発電機の操作、簡易トイレやテントの組み立てなど行いました。高齢女性でも数人で協力すればできることを知り、いざという時のために日頃の「訓練」の大しさを実感しました。



日時：令和7年3月26日（水）

場所：旧藤沢小学校

令和6年度 土浦市女性団体連絡協議会活動報告

自主事業

総会・三部会合同会議	5月9日
防災セミナー	2月17日・3月26日
女性に対する暴力をなくす運動（啓発物作成と啓発活動）	
土浦市内全公民館	10月27日～12月1日
土浦駅	11月12日
講話（花火が楽しくなる鑑賞ポイント）と交流会	10月11日
つどい31号発行	

共催事業

クローバーフェスティバル	9月21日
--------------	-------

協力事業

かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン	4月21日
広島平和記念式典	8月5日～7日
防災訓練 シェイクアウトつちうら	3月10日

編集後記



広報部会はチラシ作りとつどい31号の編集を行いました。原稿をお寄せ頂いた皆さまありがとうございました。不安なことや心配なことが多い世の中ですが、「つどい」を通して支えあえる地域社会を作っていてたらと思っています。また変革の時でもありますね。編集の仕方は変わっても、これからもご愛読ください。



【編集委員】

今泉芳子 井倉洋子 稲見清美
大高洋子 加茂美那子

連絡先:090-8805-4875(今高)